

テセントリク+アブラキサン療法

【レジメン】

day 1,8,15 アブラキサン 100mg/m²

day 1,15 テセントリク 840mg/body

上記を4週毎に繰り返す。

*アブラキサンはアルブミン製剤のため初回時に特定生物由来製品説明・同意書の取得が必要となります。

【治療内容】

実施日	投与薬剤	経路	投薬内容	時間
day1 (/)	<input type="checkbox"/> ① 生食50mL	点滴	ルート内をフラッシュします。	15分
	<input type="checkbox"/> ② テセントリク 840mg+ 生食250mL	点滴	治療薬です。 *フィルター付輸液セット使用	60・30分
	<input type="checkbox"/> ③ 生食50mL	点滴	ルート内をフラッシュします。	15分
	<input type="checkbox"/> ④ デキサート8mg+ グラニセトロンバッグ1mg/50mL	点滴	吐き気予防の点滴です。	15分
	<input type="checkbox"/> ⑤ アブラキサン () mg+ *生食 () mL	点滴	治療薬です。	30分
	<input type="checkbox"/> ⑥ 生食50mL	点滴	ルート内をフラッシュします。	15分
day8 (/)	<input type="checkbox"/> ① デキサート8mg+ グラニセトロンバッグ1mg/50mL	点滴	吐き気予防の点滴です。	15分
	<input type="checkbox"/> ② アブラキサン () mg+ *生食 () mL	点滴	治療薬です。	30分
	<input type="checkbox"/> ③ 生食50mL	点滴	ルート内をフラッシュします。	15分
day15 (/)	<input type="checkbox"/> ① 生食50mL	点滴	ルート内をフラッシュします。	15分
	<input type="checkbox"/> ② テセントリク 840mg+ 生食250mL	点滴	治療薬です。 *フィルター付輸液セット使用	60・30分
	<input type="checkbox"/> ③ 生食50mL	点滴	ルート内をフラッシュします。	15分
	<input type="checkbox"/> ④ デキサート8mg+ グラニセトロンバッグ1mg/50mL	点滴	吐き気予防の点滴です。	15分
	<input type="checkbox"/> ⑤ アブラキサン () mg+ *生食 () mL	点滴	治療薬です。	30分
	<input type="checkbox"/> ⑥ 生食50mL	点滴	ルート内をフラッシュします。	15分
day22	休薬			

※テセントリクの投与速度：初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与は30分間まで短縮できる。

《参考：アブラキサンに使用する生食の抜き取り量について》

アブラキサン100mgに対して生食20mLになります。

例) アブラキサン150mg/bodyの場合、生食の使用量は30mLとなります。

$$\text{計算式：} \quad \textcircled{2}\text{の生食 (mL)} = \frac{1\text{回投与量} [(100\text{mg/m}^2) \times \text{体表面積}]}{5\text{mg/mL (100mg/20mL)}}$$

【化学療法に関わる指示】

嘔気時：□メトクロプラミド () A 静注およびデキサート () mg 静注 ※配合変化のため混合しない

上記効果が不十分な場合

□オランザピンOD錠5mg 1錠内服 (1日1回のみ使用可) ※糖尿病の既往がある場合は使用不可

吃逆時：□メトクロプラミド1A静注

□コントミン10mg 1A 筋注

※メトクロプラミド (注射・錠剤) とH2ブロッカー (注射) またはPPI (注射) は原則併用禁忌です。

国立病院機構函館病院 外科
令和2年1月17日